

# 労働災害分析結果と対策

令和4年上半期(1月~6月)における林業の死亡労働災害は、15件発生しました。前年同期と同件数だが、災害内容に注目してみましょう。チェーンソーによる自己伐倒が多く、伐倒ミスによるものとなっています。防ぐための方法の1つとして、知識と技術力を高めることです。どんなに注意をしても、事故は起きます。十分な知識と技術力があれば、未然に防ぐことはできます。勿論、道具の手入れも大事です。仕事に対してどれだけの注意力と、その場に対応出来る知識と技術力を持っているかが、災害を防ぐ最も重要なことだと思います。

(表1) 林業における作業別死亡労働災害発生状況

項目	件数	割合(%)
伐木造材作業	11 (11)	73.3 (73.4)
集運材作業	2 (2)	13.3 (13.3)
輸送作業	1 (0)	6.7 (0.0)
造林作業	0 (2)	0.0 (13.3)
その他	1 (0)	6.7 (0.0)
計	15 (15)	100.0 (100.0)

資料出所：林業・木材製造業労働災害防止協会「死亡災害事例」ほか  
 (注) ( )内は、前年同期の発生件数等である。

(表2) チェーンソーによる伐木造材作業

項目	件数	割合(%)
(1) 自己伐倒	7	70.0
(2) 他人伐倒	1	10.0
(3) その他	2	20.0
計	10	100.0

(表3) 自己伐倒による死亡労働災害発生状況

項目	件数	割合(%)
ア 自ら伐倒した伐倒木に激突された	4	57.1
イ 自己伐倒木がかかり木となり、かかり木処理中に激突された	3	42.9
計	7	100.0

(表4) 自ら伐倒した伐倒木に激突された

項目	件数	割合(%)
(ア) 倒れる方向が変わって激突(不適正伐倒)	2	50.0
(イ) 裂け上がって、伐倒木の下敷き	1	25.0
(ウ) 伐倒作業を中断し下方で枝払い作業を行い戻ろうとしたときに当該立木が倒れてきて激突	1	25.0
計	4	100.0

# 依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業  
 塩山事務所  
 総務部

# 森林・林業白書

林野庁が毎年発表している「森林・林業白書」は、現在の動向が分かります。フォレストジャーナル資料参考の元、ご紹介します。

1. 国内林業：2020年コロナ禍・2021年ウッドショック・2022年輸入材から国産材へ
2. 持続可能な「施業の集約化」と「新しい林業」：ICTや、AI等の活用
3. 再生林の期待の星：よく育つ「エリートツリー」特定苗木と特定母樹の生産
4. 森林環境譲与税：「森林環境税」の税収を地方公共団体に譲与がスタート
5. FSCとSGEC：「森林認証制度」FSC(国際的認証)SGEC(日本独自認証)の取組み
6. カーボンニュートラル実現：木材を利用しやすい環境作りに向けた取組み実施
7. 木質バイオマス認知：再生エネルギーの他に、木材工業素材としての利用の開発

悲しい別れば、素敵な出会いに繋がる  
 別れがなければ、素敵な出会いもない

前向きになれる一言



○モバイルバッテリー  
 コルマンとの初コラボ！山中で命を守ることに繋がるモバイル電池☆  
 (多摩電子工業)



○THOQ(ソック)  
 山の寒冷地では、バッテリーの消耗が激しいので、マホにもダウンを着せてみては☆(スパーキーグレイト)



○フォレストハイカーキャリーランチ  
 極寒山中でも温かいご飯を！保温性バツグン！  
 弁当ランチがオススメ☆  
 (サブヒロモリ)



○インナーヒーターグローブ  
 電源入れて10秒で発熱！薄手なので、作業手袋のインナーとしてオススメ☆  
 (三金商事)

冬林業に備えるアイテム